



『子どもの貧困と子育て支援 ～細部に宿る人権を護り、育てる～』

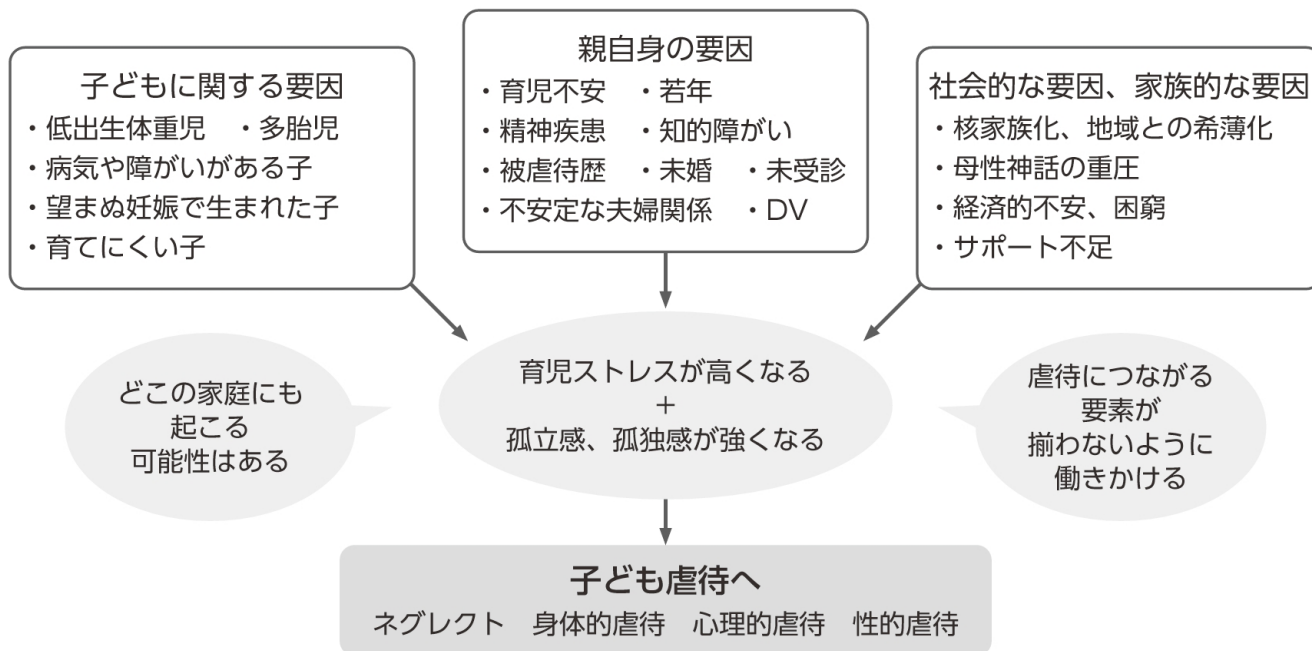
西野 伸一 さん

社会福祉法人 石井記念愛染園 大国保育園 NPO法人 子育て運動えん

人権保育専門講座6では、大国保育園の西野伸一さんに「子どもの貧困と子育て支援～細部に宿る人権を護り、育てる～」と題して、三重県人権センターと伊勢庁舎の2会場でご講演いただきました。

様々な貧困が深刻な課題である社会のなかで、子どもや保護者がどのような生きづらさを抱えさせられているかということや、だからこそどんな取組を大切にしているかについて、詳しくお話しいただきました。

子どもの貧困は、虐待やDVなどの暴力と表裏一体の関係にあると感じています。児童相談所が対応した児童虐待の件数は20万件を超えました。子育ての負担と自己責任論が親を追い込んでいます。私どもの法人で児童虐待に追いやられた事例を調査すると、次のような構造が明らかになってきました。



上記のような条件や要素がそろわないような働きかけをしていくことが子育て支援をすすめていくうえで、とても重要だと考えています。

『監視』ではなく『関心』の社会へ「ケアの文化をつくる」「安全基地となる居場所」等の様々な角度から、子育てを支える社会のあり方についてお話しいただきました。

【参加者より】

- 子どもの貧困、保護者の方の抱える不安や問題、現代社会の抱える子育てとの壁など、様々な話が聞けてよかった。話を聞いて、どのように保育に生かすか、生かせるのかという提案もあり、私自身もどうしていけばいいのか考えていきたいと感じた。
- 虐待をうけている子どもは自分の身近にはいないと感じているが、気づいていないだけかもしれないと思いました。子どもや保護者とのやりとりをもっと大切にしていきたいと思いました。
- 興味のあるテーマだったので、聞けて良かったです。重いケースですが、いつ自分の園で起こってもおかしくない事だと思いました。また自分の体験と重ねて思わず涙する事もありました。「“聴く”という事ができているのかな?」「大人の価値観を押しつけていないかな?」と、反省する点がありました。